

令和3年度学校自己評価システムシート (埼玉県立児玉高等学校)

目指す学校像	「授業」を大切にし、人間力 (①目標に向かって努力する力②人と上手に関わる力③感情をコントロールする力) を育成することを通して、地域社会へ自信と自己肯定感を持った人材を輩出する学校
--------	---

重点目標	1 「授業」を大切に作る学校 2 積極的に地域と関わる学校 3 非認知能力を身に付け、地域社会に貢献できる生徒を輩出する学校
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名
(書面開催)		

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>学習に課題がある生徒が多く、自己肯定感が低く、学びに向かう力を育てる必要がある。</p> <p>ICTの活用や、教授方法工夫によって、スモールステップで学力を向上させる取組が必要である。</p> <p>中途退学者の減少に向けた授業改善などの取組も大きな課題である。</p>	学習意欲の向上と基礎学力の定着	<p>①未来を拓く「学び」プロジェクト、ICTを活用した授業力向上(通年)</p> <p>②観点別評価の方法を検討し、生徒の学習意欲を引き出す方法研究(通年)</p> <p>③学習サポーターの活用や補習指導の充実(通年)</p> <p>④課題テストの実施とフィードバック(4月、9月、1月)</p> <p>⑤各種検定受験の積極的な働きかけ(通年)</p> <p>⑥サポートステーションとの連携による高校生自立支援事業の活用(通年)</p>	<p>①生徒アンケート「わかりやすい授業」満足度70%以上、研究授業の実施</p> <p>②観点別評価の方法を2学期末までに決定</p> <p>③学習の支援が必要な生徒の学力を向上。生徒アンケート「補習体制の充実」満足度80%以上</p> <p>④国数英の課題テストの平均点向上</p> <p>⑤各種検定試験の受験率の向上</p> <p>⑥自立支援事業のアンケート結果満足度80%以上</p>	<p>①アンケート満足度51%、研究授業の実施3回</p> <p>②観点別評価の方法を年度末に決定</p> <p>③アンケート満足度37%</p> <p>④課題テストの平均点が向上</p> <p>1年 国語</p> <p>2年 英語</p> <p>3年 数学・英語</p> <p>⑤昨年とほぼ同値(90%達成)</p> <p>⑥アンケート結果満足度77%</p>	B	<p>感染症対策を徹底しながら基礎力を向上する。そのためにICTのさらなる活用と、主体的で対話的な深い学びの実践に積極的に取り組む。</p> <p>ソーシャルスキルトレーニングなどの活動を通し、コミュニケーション能力などの非認知能力を高める指導を推進する。</p>
2	<p>新校への統合に向けた現状や取組を適切に情報提供する必要がある。</p> <p>教育活動を効果的に情報発信し、地域社会・小・中学校との教育活動・交流事業等を充実させるなど、万全の感染症対策のもと開かれた学校づくりにさらに取り組むことが課題である。</p>	学校と地域社会、関係機関や地元小中学校、保護者等との連携強化	<p>①HP更新や記者クラブへの投げ込みなど積極的な情報発信(通年)</p> <p>②「児玉高校だより」の地域への配布(年6回以上)</p> <p>③地元小中学校との交流事業の推進(通年)</p> <p>④地域活動への積極的な生徒派遣(通年)</p> <p>⑤PTA・後援会・同窓会との連携(通年)</p> <p>⑥学校説明会等の安全な実施</p> <p>web説明会、PR動画の作製・配信</p> <p>⑦夏季休業や冬季休業中の公開講座の実施</p>	<p>①HPのアクセス数の増加</p> <p>保護者アンケート「情報提供を積極的に行っている」満足度70%以上</p> <p>②配布の回数</p> <p>③地元小中学校要望に応えた交流事業等に参加したか</p> <p>④地域活動への参加回数昨年比増加</p> <p>⑤PTA等の学校行事への参加回数昨年比増加</p> <p>⑥学校説明会等の参加者数昨年比増加</p> <p>web説明会の実施、PR動画の配信</p> <p>⑦長期休業中に公開講座を実施できたか</p>	<p>①HPのアクセス数3,661,056(年80万件)</p> <p>保護者アンケート満足度8%</p> <p>②「児玉高校だより」4回配布</p> <p>③交流事業はコロナ禍で中止</p> <p>④参加回数昨年と同値(各学年地域清掃1回)</p> <p>⑤PTA等の学校行事への参加コロナ禍でなし</p> <p>⑥参加者数(89→85)web説明要望なし、学校紹介動画を配信</p> <p>⑦公開講座を2回実施</p>	B	<p>児玉白楊高校と連携して令和5年度の新校の募集を円滑に行う。</p> <p>公開講座の実施や近隣小学校とのスポーツ交流など行い、新校の印象付けを狙い、地域との情報連携を深める。</p> <p>コロナ禍でも参加できるPTA活動の在り方も検討する。</p>
3	<p>教育相談的なアプローチで生徒指導をおこなうなど、生徒指導の共通理解を深める必要がある。</p> <p>目標を持ち進路実現に取り組む生徒が多い。進路実現に向けた生徒の主体的な取組への更なる支援が必要である。</p> <p>感染症対策を踏まえ、学校行事や部活動を充実させる必要がある、様々な活動を通し自己実現を支援する必要がある。</p> <p>系統的、組織的に進路指導を行い、生徒が主体的に進路を選択できるように指導することが課題である。</p>	<p>学校生活の充実と規範意識の向上</p> <p>進路希望の実現</p>	<p>①整容指導等の徹底(通年)</p> <p>②安心で落ち着いた学習環境の整備(通年)</p> <p>③基本的な生活習慣の確立</p> <p>④スクールカウンセラーを活用した教育相談の充実</p> <p>⑤生徒会による学校行事の活性化(通年)</p> <p>⑥部活動の活性化(通年)</p>	<p>①学年集会、全校集会の実施回数</p> <p>②生徒アンケート「学校や日常生活について」満足度80%以上</p> <p>③遅刻率(1・2学期)の昨年度比減少</p> <p>④スクールカウンセラー相談満足度70%以上</p> <p>⑤生徒アンケート「学校行事が充実」満足度80%以上</p> <p>⑥部活動参加者率及び大会等の成果</p>	<p>①学年集会及び全校集会を課業月に毎月実施</p> <p>②生徒アンケート「学校や日常生活について」満足度80%</p> <p>③1年1.8%増、2年増減なし、3年5.4%増</p> <p>④教育相談の満足度29%</p> <p>⑤学校行事が充実満足度37%</p> <p>⑥女子柔道部インターハイ出場</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>基本的生活習慣の確立のため、学年集会等で生活指導を継続する。コロナ禍で様々な制約があり、時期や内容を改めて検討し、満足度を高める必要がある。教育相談体制として特別支援学校のセンター機能も活用し、生徒の様々な困難に対応する必要がある。</p> <p>進路先を決定していない生徒への適切な指導が課題である。</p>

学校関係者評価
実施日 令和4年3月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で「勉強ができない」まま卒業する生徒がいるため、学び直しをお願いしたい。「勉強ができる、問題が解ける」楽しさを味わわせてほしい。 ・生徒が学業に専念できる環境づくりと通う人のことを考え配慮を願いたい。 ・ICTやSSTの活用により生徒の学習が充実し、資質、能力を身に付けられるよう運用に期待する。 ・日本語に不安がある生徒に基礎力をつける指導を行い、学習意欲を向上させる指導を行ってもらいたい。社会に出て通用するように指導をお願いしたい。 ・オリンピックで本校出身者が金メダリストになったが、スポーツに力を入れていることを積極的にアピールすることが大切のように感じる。 ・地域の清掃活動の中・高合同で実施できないか。 ・児玉新校に地元中学校としても大いに期待している。 ・幅広く地域と一体となり、小中学生とスポーツを通して伸び伸びと学べる学校をアピールする。 ・柔道、サッカー、野球、バスケットボールなど母校を誇りに励んできたOBの方々にも協力を依頼してはどうか。 ・生徒の様々な困難に対し諸先生方の叡智を傾注していただきたい。 ・SNSの影響か、面と向かっての対人関係を築くことができない生徒が一定数いる。人間関係が広がらないことなどの原因はそこにあるのではないか。